

平成28年度 ESRI 国際コンファレンス
「国際共同研究『人口減少下における経済社会への影響』」
(マクロ経済成長への影響) 報告会の概要
(平成29年3月開催)

- 開 会
主催者挨拶：前川 守 内閣府経済社会総合研究所長
主査 挨拶：福田 慎一 東京大学大学院経済学研究科教授
- セッション1「日本の高齢者世帯の貯蓄行動に関する実証分析」
発 表 者：チャールズ・ユウジ・ホリオカ 公益財団法人アジア成長研究所副所長・主席研究員
新見 陽子 公益財団法人アジア成長研究所主任研究員
討 論 者：村田 啓子 首都大学東京大学院社会科学部研究科教授
- セッション2「Human capital accumulation through recurrent education」
発 表 者：田中 茉莉子 武蔵野大学経済学部経済学科講師
討 論 者：中村 英樹 大阪市立大学経済学研究科教授
- セッション3「景気指標における人口動態の影響」
発 表 者：小巻 泰之 日本大学経済学部経済学科教授
討 論 者：脇田 成 首都大学東京大学院社会科学部研究科教授
- セッション4「高齢化とマクロ投資比率—国際パネルデータを用いた分析—」
「企業内部の高齢化が設備投資に与える影響—日本企業の財務パネルデータを用いた分析—」
発 表 者：梅田 政徳 内閣府経済社会総合研究所研究官
川本 琢磨 内閣府経済社会総合研究所研究官
酒巻 哲朗 内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官
堀 雅博 内閣府経済社会総合研究所上席主任研究官
討 論 者：中村 純一 日本政策投資銀行設備投資研究所副所長
- セッション5「Impact of Population Aging on Economic Growth: A Panel Analysis」
発 表 者：Hyun-Hoon Lee 江原大学校教授
Kwanho Shin 高麗大学校教授
Donghyun Park アジア開発銀行プリンシパルエコノミスト
討 論 者：鈴木 晋 内閣府経済社会総合研究所主任研究官
- セッション6「Migration, Human Capital, Brain Drain and Gain: A Perspective in Light of the EU's Experience」
発 表 者：Robert F. Owen ナント大学教授
討 論 者：川崎 泰史 内閣府経済社会総合研究所上席主任研究官
- 講 評 福田 慎一 東京大学大学院経済学研究科教授
閉 会 前川 守 内閣府経済社会総合研究所長

※ここに記載している発表者らの肩書きは、報告会開催当時のものである。

経済社会総合研究所の概要

経済社会総合研究所(Economic and Social Research Institute:以下ESRIという)は、中央省庁再編の一環として従来の経済企画庁経済研究所の機能、規模を拡充して2001年1月に発足した内閣府の機関です。内閣府は重要課題を担当する「知恵の場」ですが、ESRIは内閣府のシンクタンクとして理論と政策の橋渡しを担う、言わば「知恵の場」の中の「知恵の場」といえます。

ESRIの主要な任務として、経済活動、経済政策、社会活動等に関わる理論及び実証研究を行い、政策研究機関としての機能強化を図るとともに、内部部局と連携し、経済財政諮問会議の審議に資する研究の実施と政策研究を担う人材育成・研修等に取り組んでいます。また同時に、GDP(国内総生産)統計に代表される一国経済の循環を記録する国民経済計算体系(SNA: System of National Accounts)の推計作業を行い、四半期毎のGDP速報(QE: Quarterly Estimates)、年度毎の確報を公表、さらには、CI(景気動向指数)等の景気動向統計の作成を行い、公表しています。